

令和7年度 八木学区地域運営委員会 事業報告書

1 令和7年度の目標に対する事業実施の成果

・ふれあい祭りや盆踊りなど、子供、若者、高齢者が同じ場所に集まることでの世代を超えた交流が生まれた。
・多世代カフェなどは、顔が見える関係ができるし、二胡などの演目があったので、高齢者の方の外出のきっかけになることができた。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	広報誌・ホームページの作成	(8)事業中(1)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(14) (1)～(13)に掲げる活動の地域内外への情報の発信に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年8月1日 ～ 令和8年3月31日	
(2) 実施場所	八木小学校区	
(3) 参加者数	5 人	
(4) 主催団体	団体名 八木学区地域運営委員会	
4 取組内容	各団体の活動について、広報紙やホームページなどで情報発信を積極的に行う。 町内会に加入していない地域住民への情報発信を積極的に行う。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	各団体の役員の高齢化など様々な要因によって、相互扶助や福祉、防犯、防災、環境美化、伝統文化の維持、町の賑わいづくりなど地域の機能が低下してきている。安心安全に暮らすことのできる地域づくりを目的に住民同士が地域活動を行っていけるようにする。	
(2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。)	地域住民が地域活動を理解し積極的に参加できる環境を構築していく為に、ホームページを立ち上げる準備までは完了した。	

1 事業名	八木学区盆踊り大会	(8)事業中(2)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(1) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年8月2日	
(2) 実施場所	八木小学校	
(3) 参加者数	800人	
(4) 主催団体	団体名 八木学区盆踊り大会実行委員会	
4 取組内容	盆踊り大会の開催 参加者全員での盆踊り、地域団体のバザー、くじ引き等の実施 多世代の参加 町内会に入っていない地区住民の参加	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	地域の伝統行事である盆踊りの開催がコロナ禍で開催できず、以前の賑わいがもどらない。魅力ある盆踊り大会を行うことで、幼児から高齢者まで全ての世代の交流を目指し、地域の伝統行事の維持、継承を図る。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	祭りの参加者は年々増加傾向にあるが、コロナ以前の賑わいまで至らない状況。 地域住民で行う盆踊りには当日の来場者も参加、地元高校生のバンド演奏やダンスの発表も実施した。地域行事の参加者が増え、多世代交流と地域の伝統行事の維持、継承及びにぎわいの創出、地域への愛着の醸成を図ることができた。	

1 事業名	八木ふれあい祭り	(8)事業中(3)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年11月30日 ～ 令和7年11月30日	
(2) 実施場所	八木小学校	
(3) 参加者数	500 人	
(4) 主催団体	団体名 八木学区ふれあい祭り実行委員会	
4 取組内容	八木ふれあい祭りの開催 舞台発表 作品展示（八木小学校児童・八木幼稚園園児、地域住民） グランドゴルフ競技、体験 ボッチャ競技、体験	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	コロナ禍、労働環境、生活環境の変化などにより、子供たちを守り、育てるつながりが希薄になってきている。このため「地域の子供は地域で育てよう」という理念のもと、子供たちと地域のふれあいの場を作り、顔の見える関係づくりの機会とする。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	八木学区の住民が総出で参加。幼稚園、小学校、中学校、児童館の協力にも後押しされ、多くの地域住民が参加した。校庭の周りに 10 張のテントで展開される様々な催し物に加え、今回からキッチンカーも初登場し、参加者の要望に沿った祭りを行うことで参加者の満足感も得られた。「ふれあい祭り」の舞台装置も回を重ねるごとに多様性を増し、グランドゴルフやボッチャでは世代を超えた交流も実現した。	

1 事業名	八木ふれあい駅伝	(8)事業中(4)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(2) 地域住民の健康の維持増進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年2月8日	
(2) 実施場所	八木小学校	
(3) 参加者数	40 人	
(4) 主催団体	団体名 八木ふれあいの会	
4 取組内容		
八木の地域で駅伝大会を実施 親子の部、小学生の部、中学生の部、一般の部で構成 地域の方が走路の見守りをはじめ、大会の運営を行い子ども達と走る		
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 コロナ禍、労働環境、生活環境の変化などにより、子どもたちを守り、育てるつながりが希薄になってきている。このため、「地域の子供は地域で育てよう」という理念のもと、子どもたちと地域の人たちのふれあいの場を作り、顔の見える環境づくりの機会とする。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） 当日、降雪があり走路の安全性が担保できないと判断し中止したが、事前準備として地域団体が集まり、当日の運営やコースの検討を行ったり、大会開催に係る物品等の購入等の準備を行った。このことを通して、地域団体を中心とした地域住民のつながりの深化と持続可能な地域づくりに資する関係性の構築が図られた。		

1 事業名	健康マージャン	(8)事業中(5)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(2) 地域住民の健康の維持増進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年9月1日 ～ 令和8年3月31日	
(2) 実施場所	八木集会所	
(3) 参加者数	15～50 人	
(4) 主催団体	団体名 八木学区社会福祉協議会、八木学区連合町内会、 八木学区老人クラブ連合会	
4 取組内容		
健康マージャンの開催 (週2回の実施) 「賭けない・飲まない・吸わない」をスローガンに取り組む。 電動マージャン卓を設置することで多くの参加、交流ができるようにする。 地域の高齢者を中心に参加を呼び掛ける。		
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 地域の高齢者が増える中で「健康づくり・仲間づくり・生きがいづくり」につながる取り組みを活性化することで、健康に暮らす高齢者が増えることを目的とする。 (2) 効果 (事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。) 週2回の定期的な開催をすることで、生活リズムの中に活気を得ることができている。 当初は電動マージャン卓の導入を考えていたが、手を動かす方が運動になるとのことから電動マージャン卓の導入は取りやめた。		

1 事業名	多世代交流カフェ	(8)事業中(6)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年2月14日	
(2) 実施場所	八木集会所	
(3) 参加者数	65人	
(4) 主催団体	団体名 八木学区社会福祉協議会	
4 取組内容	・安来節保存会による銭太鼓、ひょっとこ同好会による健康体操、オカリナ演奏・二胡の演技・演奏を実施 ・来場者参加型の健康体操 ・〇×ゲーム ・地元野菜の販売 ・喫茶コーナー	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 地域の高齢者が増えている中で、気楽に集える場所を提供することで、だれでも住み慣れた地域で楽しみながら暮らし続けられるようにすることを目的とする。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） 地域で活動されている安来節保存会による銭太鼓、ひょっとこ同好会による健康体操、オカリナ演奏・二胡の演技・演奏を実施。愛嬌のあるどじょうすくい踊りに会場は大いに盛り上がった。音楽に合わせて全員で行った健康体操では笑みがこぼれ楽しく体を動かす事ができた。オカリナ、二胡の音色を初めて聴いた方から「素晴らしい！感動した！」と。〇・×クイズのゲームあり景品付きに思わず力が入る場面もみられた。自由に過ごせるカフェも設置し交流を深め、地元の新鮮野菜の販売はほぼ完売という結果を得ることができた。アンケートを実施し地域の方々の意見を多く聞くことができた。		

1 事業名	地区対抗グランドゴルフ大会	(8)事業中(7)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(2) 地域住民の健康の維持増進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年12月	
(2) 実施場所	八木小グラウンド	
(3) 参加者数	200 人	
(4) 主催団体	団体名 八木学区地域運営委員会	
4 取組内容	地区対抗グランドゴルフ大会の実施 多世代の参加 町内会に入っていない地区住民の参加	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 古くから住んでいる人と新しく移り住んだ人との間に「壁」があることから、地域の一体感を醸成し、友愛と活力に満ちた賑わいのあるまちづくりを推進することを目的とする。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） 地域に暮らす住民全てを対象に多世代が参加できる事業を行うことで、地域の一体感の醸成を推進できる。 グラウンドゴルフをするには寒いため、令和8年度5月に変更で中止となる。		

1 事業名	親子学習会の開催	(8)事業中(8)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域のこども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年9月6日	
(2) 実施場所	エフピコ福山リサイクル工場	
(3) 参加者数	37人	
(4) 主催団体	団体名 八木学区青少年健全育成連絡協議会・八木学区母子寡婦福祉会	
4 取組内容	エフピコ福山リサイクル工場の見学	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	コロナ禍、労働環境、生活環境の変化などにより、子どもたちを守り、育てるつながりが希薄になってきている。このため、「地域の子供は地域で育てよう」という理念のもと、親子で参加できる環境学習の機会として、広島県内の先進的なリサイクル工場の見学を実施することで、環境問題への意識を高めるとともに、親子及び参加者同士のふれあいの機会とする。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	リサイクル工場では日常で使用されているトレー等がどのような過程で処理されているか、処理される量の多さを体感することができた。何気なく廃棄しているリサイクル製品を意識することのきっかけになった。親子の触れ合い、参加者同士のコミュニケーションを図ることができた。	